

図-2 豪雨の際に発生する恐れのある重大な土砂災害について

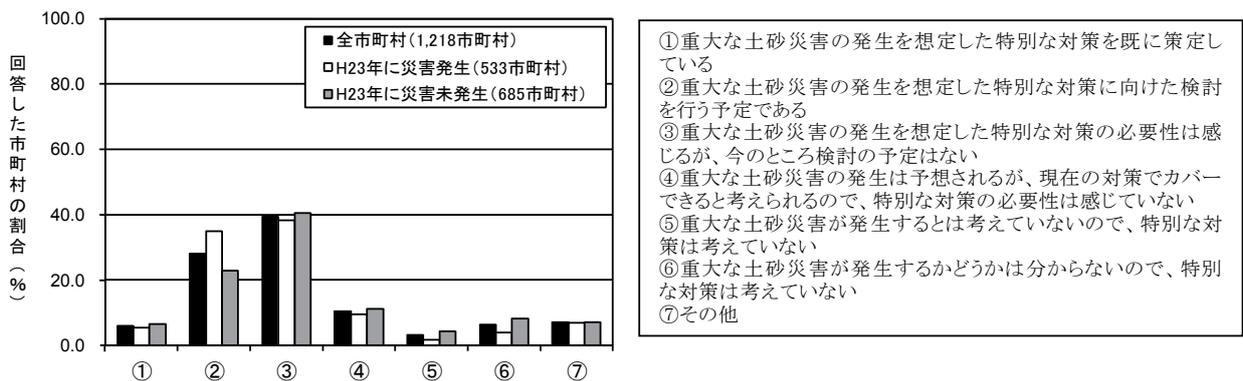


図-3 発生する恐れのある重大な土砂災害に対する警戒避難を進める上での特別な対策について

#### 4. 大規模土砂災害に対する住民の安全確保に関する提言

このアンケートの結果、大規模土砂災害に対応する際の、市町村が抱えている課題がある程度明らかになってきた。その課題解決のために、市町村が支援を必要としている主な項目を以下に示す。

- ① 安全な避難場所・避難路の確保・見直しの支援
- ② 適切な避難勧告等発令のための支援
- ③ 情報伝達システム整備のための支援
- ④ 災害時要援護者対策の支援
- ⑤ 人員・物資・技術等の支援
- ⑥ 職員・住民の防災意識・防災知識向上のための支援
- ⑦ 土砂災害警戒区域等指定の促進・見直しの支援

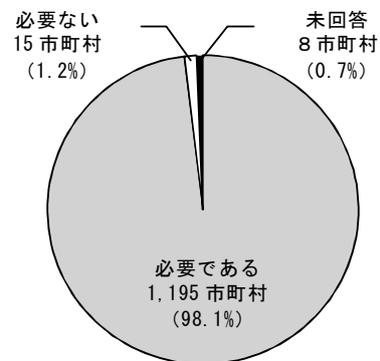


図-4 大規模な土砂災害が発生した際の国による直接的な災害対応の必要性について

これまでの経験を上回る豪雨の際に発生する土砂移動現象は、地域の自然的条件により異なるが、現象発生の密度が高くなることや、個々の箇所での規模が大きくなること、雨域によっては広範囲で深刻な現象が発生することなどが想定される。また、土砂災害と同時に洪水災害にも対応しなければならないことや、広範囲で道路網の寸断が想定され、地域の孤立化など地域全体に与える影響の深刻さを指摘する記述も寄せられている。したがって、こういった深刻な状況を前提にした上での、特別な事前対応、災害時対応、災害直後緊急対応などが必要になってくるのがアンケートから読み取れた。

個々の地域での大規模な災害の想定は難しい状況にあるが、周辺地域を含めた範囲での災害履歴を調べ直すとともに、国、県、市町村が連携して専門家とともに対応策を検討していく必要があると思われる。